

オーナーblog 第24話 「誠実革命」 (2025.1.27.)

「ホンマでっか！テレビ」に出演の武田邦彦さんのyou tube「腎臓病の現状と闇の世界」を視聴した。日本の国民病となった慢性腎臓病と透析医療のエグイ部分を暴露されていた。誠実でない？医者が、末期腎不全の患者さんに早期の透析導入をしている現実である。

地域の基幹病院の腎臓専門医から、透析導入目的でクリニックの腎臓内科に紹介されてきたケースがあった。脱水による悪化が原因で、入院により一旦は改善された。

その後、腎臓内科の先生より、糖尿病腎症に詳しいと思われる私に紹介された。

91歳女性の患者さんは、専門医より末期腎不全で透析やむなしということを言われていた。腎性貧血・低アルブミン血症・全身浮腫…。食欲低下で生命の危機の状況であった。息子さんには、透析回避は困難と話されていたようである。「母には生きて欲しい」と願いを言われた。患者さん自身も、知的障害の息子さんが心配で、「生きたい」という意志が伝わってきた。正直、「これは参った。」と思った。どこから治していけばいいのか、すべきことが多過ぎて、考えることと時間が相当にかかることが頭をよぎった。

“いくせい流”は手を抜かないことを実践し続けている。簡単に言えば、良くなる可能性が少しでもあれば、先生が覚悟を決めた方が、結局は早くましになるはずである。

患者さんが目標とされていた北陸旅行を実現することができた。食事が美味しくなって糖尿病の数値が“良い意味？”で上がるまでになった。現在、透析をせずに94歳を迎えている。

智慧と工夫と時間をかけることが、『誠実』の必要条件のように思われる。